

公益財団法人 プラザ・コム
2022年度 事業報告書
(2022年4月1日～2023年3月31日)

当法人は、活動場所を提供する事により、誰もが暮らしやすい社会や町（福祉コミュニティ・共生社会）を市民の手で作る事を目的としている。

当財団が所有し、この目的のため提供する場所として、「宝塚福祉コミュニティプラザ」（宝塚市売布東の町17077.87㎡）がある。このエリア内には、ボランティアが活動する「ぷらざこむ1」、市が運営し子どもたちや高齢者が活動する「フレミラ宝塚」、障害者が働く「こむの事業所」、障害者の生活介護と障害者の余暇活動ができる「ぷらざこむ2」、そして一般市民のための「ガーデニング広場」がある。

以下に、その事業内容を報告する。

1. ぷらざこむ1（3階の建物：2,991.86㎡ 土地面積：2800㎡+駐輪場131㎡）

(1) 概要

- a. 1Fには活動スペース(575㎡)があり、一般市民に提供している。机とイスが約20セット備え付けられているほか、パソコンの利用や印刷を行うことができる。また、これ以外に倉庫とロッカースペースがあり、利用者登録されたボランティアグループに提供されている。
- b. 2Fには、会議室(10部屋計388㎡)、クッキングルーム(79㎡)、プレイルーム(36㎡)、レコーディングルーム(8㎡)があり、利用者登録されたボランティアグループに提供されている。
- c. 3Fにはフリールーム(576㎡)があり、利用者登録されたボランティアグループと一般市民に提供されている。一般市民の利用条件は、社会的課題に取り組む内容である事、その審査はこむ1会が行っている。

(2) ぷらざこむ1のコロナ対策（前年に引き継ぎ）

- a. 1F活動スペースの机の上にアクリル仕切り板を設置
- b. 正面玄関にサーマルカメラ（非接触体温計）を設置
- c. その他、アルコールを各力所に設置と、換気の徹底、マスクの徹底を促す。
- d. 2F会議室は定員を通常の1/2とし、イス、テーブルの一部を3Fに移動
- e. 3Fフリールームは、2Fより移動したテーブル/イスを使い、大会議室として利用し、利用料金は不要とした。

(3) ぷらざこむ1の利用

- a. 2階3階、ぷらざこむ1利用登録グループによる利用状況。

	朝～昼～夕方（9時～17時）							
	2階					別棟 工作室	2階 + 工作室	3階 フリー ルーム
	中会議室 会議室21～24	小会議室 会議室25～27	クッキング ルーム	プレイ ルーム	レコーディン グ			
2022年度	27.6%	21.2%	3.0%	2.3%	13.0%	37.4%	18.9%	32.8%
2021年度	22.5%	16.3%	2.8%	0.0%	5.6%	30.5%	16.2%	31.2%
2020年度	24.8%	15.8%	1.8%	0.7%	14.8%	39.9%	18.6%	24.1%
2019年度	28.5%	13.0%	8.6%	1.3%	29.0%	35.6%	20.2%	3.9%
2018年度	30.4%	15.8%	12.3%	0.9%	10.9%	36.1%	20.8%	7.2%
2017年度	33.6%	15.3%	12.4%	2.1%	9.9%	35.9%	21.8%	8.7%
2016年度	33.3%	17.3%	14.1%	1.1%	11.1%	36.6%	22.6%	7.3%
2015年度	33.1%	19.0%	14.0%	2.9%	4.1%	36.5%	22.7%	6.2%
2014年度	38.0%	22.1%	17.1%	3.6%	13.6%	39.5%	26.7%	7.7%
2013年度	37.7%	24.6%	17.0%	1.7%	30.3%	36.3%	28.4%	10.9%
2012年度	37.0%	25.2%	17.5%	2.0%	10.3%	34.9%	26.9%	9.4%
2011年度	33.6%	26.2%	16.8%	2.4%	18.1%	44.6%	27.2%	7.8%
2010年度	35.4%	27.8%	19.1%	2.1%	19.6%	46.6%	28.8%	9.6%

- ・ 部屋の利用率は、各部屋の利用可能全時間に対する利用された合計時間との比率である。
- ・ 2020年6月1日～会議室21AB、25AB、27ABの間仕切りを取り、一つの部屋とし、全ての会議室の定員を1/2としている。
- ・ 3Fフリールームの利用料金（電気水道費500円+空調費700円）を登録Gは無料としている。

b. ぶらざこむ1利用登録のグループ数、利用件数、利用者数

	朝～夜間（9時～21時）		（3月31日現在）
	利用件数	利用者数	利用登録グループ数
2022年度	1,467件	20,727人	51グループ
2021年度	1,236件	17,008人	58グループ
2020年度	1,097件	15,177人	57グループ
2019年度	1,564件	25,650人	56グループ
2018年度	1,624件	29,646人	64グループ
2017年度	1,709件	31,720人	65グループ
2016年度	1,792件	32,135人	71グループ
2015年度	1,828件	32,284人	72グループ
2014年度	2,026件	34,516人	88グループ
2013年度	2,292件	38,505人	100グループ
2012年度	2,201件	38,996人	97グループ
2011年度	2,257件	38,380人	97グループ
2010年度	2,404件	42,419人	102グループ

c. ボランティアグループのぶらざこむ1利用登録

- * ぶらざこむ1の利用登録は、ボランティアグループが申請書を当財団に提出し、ぶらざこむ1利用登録審査会にて審査される。
- * 登録された全てのグループは、毎年8月に登録更新を行う。
- * 2022年度の登録（2022年8月）
 - ・ 更新したグループ・・・・・・・・・・ 51グループ
 - ・ 更新しなかったグループ・・・・・・ 6グループ
 - ・ 新規登録グループ(復帰グループ含む)・ 3グループ
 - ・ 退会したグループ・・・・・・・・・・ 4グループ

d. こむ1会（ぶらざこむ1登録グループ等で構成されている。）

- * こむ1会の活動は、コミュニティづくりの促進、ぶらざこむ1の自主運営に関する活動であり、以下の活動が行われた。
 - ・ 施設改善小委員会（施設改善や防災減災、クッキングRの点検改善など）
 - ・ 大掃除大会 2022年6月16日 33グループ、約100人が参加して開催した。
 - ・ 交流小委員会（各種の交流活動を行う。）
 - ・ こむ1会フェスティバルはコロナ禍のため中止
 - ・ 広報小委員会（各種の広報活動）
 - ・ こむ1会ウェブサイトの運営、デジマガの配信

(4) その他のぶらざこむ1利用

a. 駐車場受付カウンター

- * 障害者の就労支援活動をする場として、(特非)こむの事業所が駐車場の受付を行っている。

b. ボランタリープラザzukavo（旧：宝塚市ボランティア活動センター）

- * 宝塚市社会福祉協議会へボランタリープラザzukavoの事務スペースとして提供している。
- * 2022年7月1日に名称が、宝塚ボランティアプラザzukavoに変わった。
- * ボランタリープラザzukavoの目的
 - ボランティア活動に関する情報提供、相談、つなぎ役（コーディネート）、講座や研修会、助成事業の実施のほか、ボランティア保険の窓口、当事者家族の支援

c. 1階の活動スペース（一般市民の利用）

- * 一般市民の人たちがさまざまな活動のために利用
 - ・ 利用基準・・・利用の注意事項においてだれでも利用可

d. 3階のフリースペース（一般団体の利用）

- ・ 利用基準・・・社会的課題に取り組む内容である事。（こむ1会にて審査し承認）
- ・ 件数・・・・・・6件（2021年度・・・3件）

2. ぶらざこむ2（2階の建物540㎡ 土地面積3,727.58㎡ 但しフレミラ宝塚駐車場を含む）

(1) 概要

- a. 1Fには、多目的室(74㎡)、防音室(20㎡)、倉庫(25㎡)、野外には、スポーツ広場(1500㎡)があり、利用者登録された障害者グループが、音楽の練習や卓球、テニス等のために利用した。

- b. 2F(270㎡)は、めふプラザ((社)福)さざんか福祉会が、知的障害者の生活介護施設として2021年7月まで利用、以後2023年3月31日まで、めふプラザの倉庫として利用した。
- c. ぶらざこむ2の建物が老朽化しているため、2023年度に取り壊しを予定している。

(2) スポーツ広場及び1階の多目的室及び防音室

登録された障害者グループが、スポーツ及び文化芸術等の活動場所として利用。

a. 登録された障害者グループによる利用状況

	スポーツ広場	多目的室	防音室	全体(合計)	利用登録グループ数
2022年度	121回	44回	19回	184回	8グループ
2021年度	234回	43回	15回	292回	9グループ
2020年度	26回	69回	21回	116回	10グループ
2019年度	38回	115回	33回	186回	9グループ
2018年度	46回	124回	30回	200回	11グループ
2017年度	52回	124回	28回	204回	12グループ
2016年度	57回	131回	11回	199回	12グループ
2015年度	134回	212回	128回	474回	13グループ
2014年度	134回	234回	137回	505回	13グループ
2013年度	146回	206回	142回	494回	14グループ
2012年度	157回	210回	123回	490回	11グループ
2011年度	196回	200回	120回	516回	11グループ
2010年度	233回	226回	104回	563回	9グループ

1日を3区分に分け、1区分の利用ごとに利用1回とする。(各区分は、9-13時/13-17時/17-21時)

b. ぶらざこむ2利用者運営委員会

- ・利用者で構成する「ぶらざこむ2運営委員会」が施設の自主運営を行ってきた。
- ・ぶらざこむ2利用者運営委員会 毎月1回 但し、コロナの為開催できたのは6回

c. 夕暮れコンサート(実行委員会) 2022年10月1日開催

- ・コロナ禍で2年間開催できなかったが、出演12グループ、出店10グループ、今までとなく多数の来場があり、盛大に行われた。
- ・2022年の夕暮れコンサートが最後となる。

d. 建物ぶらざこむ2解体予定にともなうぶらざこむ2運営委員会の解散

- ・第12回こむ2交流会=お別れ-さよなら会(2023年3月4日)
- ・こむ2利用者と支援者112人集まり、ふうせんバレー、くじ引きゲーム、みんなで歌おう、演芸、昼食のお弁当を食べてお別れをした。
- ・建物ぶらざこむ2は解体予定となっているため、3月31日をもって委員会を解散した。
- ・ぶらざこむ2の利用も3月31日をもって終了とした。

(3) 2階及び1階の部屋(宝塚めふプラザ)

- a. (社)福)さざんか福祉会が、障害者の生活介護施設「宝塚めふプラザ」として2021年7月まで利用していたが、耐震性の問題のため小浜に移った後は宝塚めふプラザの倉庫として使用した。

3. こむの事業所(2階の建物1,840㎡ 土地面積3,298㎡フレミラ駐車場含む)

1Fは、(特非)こむの事業所が障害者に対する就労支援の場として利用するほか、(特非)宝塚成年後見センターが、成年後見制度の活用・相談事業等を行っている。

2Fは、1Fと同様にこむの事業所が障害者に対する就労支援の場として利用するほか、障害者就労生活支援センター(宝塚市さざんか福祉会)が、障害者等の民間事業所への就労促進を図っている。

(1) (特非)こむの事業所

a. 障害者スタッフ等の在籍、退職と一般就労(5月1日現在) (年度・人)

	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
障害者スタッフ	4	14	15	15	19	18	22	19	22	20	23	23	23
退職者(年度)			3		4		3	5	2	1	1	1	1
一般就労(年度)							2	2	1	1	0	1	0
その他支援			2	3	3	5	6	4	4	7	7	6	7
正規・常勤職員	1	3	3	4	6	4	4	7	6	8	9	8	8
パート(常勤換算)	2	2	6.86	8.5	6.1	7.8	8	13.3	10.3	8.1	7	6.5	7.8

b. 事業収支の推移

(年度・千円)

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
収入	9,062	54,774	75,999	74,651	88,598	93,025	88,214	93,058	110,526	114,253	119,749	104,792	117,578
支出	14,155	52,129	63,917	73,500	85,592	90,388	91,660	97,685	112,153	110,798	110,832	105,614	109,135
収支	△5,092	2,644	12,082	1,151	3,006	1,844	△3,446	△4,626	△1,627	3,455	8,917	△ 822	8,443
特開金		3,450	7,050	2,400	2,377	1,185	1,300	1,200	1,200	2,500	2,233	1,100	666

c. 就労支援事業収入の推移

(年度・千円)

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
レストラン/配食		2,963	4,881	6,852	9,273	12,087	13,049	17,144	21,777	18,390	25,561	25,166	25,117
給食	4,004	10,606	13,802	13,732	13,357	13,330	13,526	13,288	13,069	10,763			
市場		1,200	4,401	6,175	8,338	8,938	8,374	8,256	16,301	12,692	6,950	6,177	6,467
パソコン事業				2,409	3,622	4,864	3,050	3,068	1,700	1,274	566	2,241	4,029
清掃	1,285	7,887	8,065	6,987	10,668	11,902	10,656	12,183	11,203	11,638	14,154	19,276	18,388
駐車場		6,663	7,033	7,695	7,763	8,068	7,345	7,003	6,816	6,386	4,407	4,502	4,910
事業収入計	5,289	29,319	38,182	43,850	53,021	59,189	56,000	60,942	70,866	61,143	51,638	57,362	58,911

d. 住居支援施設

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
利用延べ人数		0	123	23	54	314	131	552	561	534	634	459	266
利用件数		0	4	5	9	4	9	14	8	23	16	13	7

(2) (特非)宝塚成年後見センター（1階の事務所）

* (特非)宝塚成年後見センターが行う高齢者・障害者の法人後見等について、2022年度は面談をはじめ福祉サービス利用支援など1279件の支援サービスを行ったほか18人の法人後見を行った。

(3) 障害者就労・生活支援センター「あとむ」（(社福)さざんか福祉会）（2階の事務所）

* (社福)宝塚さざんか福祉会が宝塚市の委託を受けて運営する障害者就業・生活支援センターについては、障害者等の就労について、2022年度は6694件の面談による相談を実施し、54人が就職した。

4. 宝塚福祉コミュニティプラザ内の各駐車場

* フレミラ駐車場、ぶらざこむ1駐車場を、障害者就労のため(特非)こむの事業所へ管理を委託し、障害者スタッフが受付業務を行った。(売上は全額障害者スタッフの給与となる。)

5. ガーデニング広場（土地面積 1,924㎡）

* 一般市民が利用

* 造園や花壇、花づくり等はボランティアグループ「ぶらざこむのお花畑」が担っていましたが、3月31日で解散した。

6. フレミラ宝塚の敷地（土地面積 3,871㎡）

老人福祉センター、大型児童センター、子ども家庭支援センター、ファミリーサポートセンター、子どもの権利サポート委員会の活動のため、宝塚市が運営する建物である。当財団では当該敷地を無償で提供している。

(1) 宝塚市立老人福祉センター

* 高齢者の生きがい創造の多様な活動の場となることを目的としている。具体的には214の同好会(書道、絵画、陶芸など)、16の初心者向け教室(書道、陶芸、囲碁など)の活動が行われ、年間65,737人の利用者が訪れている。

(2) 宝塚市立大型児童センター

* 地域児童館を統括し、中高生の居場所づくり、仲間作りの場となることを目的とし、文化活動、学習、運動の場の提供を行っている。年間29,852人の利用者が訪れ、利用団体は33グループにのぼる。

(3) 宝塚市子ども家庭支援センター

＊子育て支援の中核的な役割を担う拠点として、就学前親子を対象に、居場所の提供、子育て相談お呼び子育てん総合情報誌発行等を実施している。きらきらひろばの利用者数は、年間8,547人。

(4) 宝塚市ファミリーサポートセンター

＊「子育て・介護の応援をしてほしい」「子育て・介護の応援をしたい」という人が、お互いを助け合いながら育児・介護の相互援助活動を行っている。活動件数年間（育児）3,660件（介護）2,642件。

(5) 宝塚市子どもの権利サポート委員会

＊子ども自身の悩みや心配ごとの相談を受け付けている。相談件数年間270件。

7. あるがまま交流活動センター「あるでこむ」

(1) あるでこむ建設中止

- a. 実施設計の完成が間近となっていたが、2022年10月15日(公財)プラザ・コム第2回理事会において建設の中止を決定した。
- b. 建設中止の理由は、世界的な物価高による建設費や運営維持費の高騰、また、固定資産税が未確定のため、完成後の運営が憂慮される状態となったためである。
- c. 以下の関係者に建設中止の説明を行い、理解をいただいた。
 - ＊ 10月27日 みんなでつくるプロジェクト経営部会
 - ＊ 11月 3日 みんなでつくるプロジェクト全体会
 - ＊ 11月10日 宝塚めふプラザ保護者会
こむ1会
 - ＊ 12月 1日 福祉コミュニティプラザ連絡会（zukavo、こむ1会、ぶらざこむ2運営委員会、フレミラ宝塚、こむの事業所）

(2) あるでこむ建設準備室「しえあ〜キッチン」

建設中止にともない2022年12月17日をもって営業を停止し、12月末においてあるでこむ建設準備室「しえあ〜キッチン」は解散した。

8. その他

宝塚福祉コミュニティプラザ内の作業を、以下の障害者団体へ委託した。

- (1) 福祉コミュニティプラザ内の草刈り・芝刈り → 小規模作業所 和み
- (2) ぶらざこむ1トイレの清掃 → 小規模作業所 和み
- (3) ぶらざこむ1共用カ所・ぶらざこむ2の1階等の清掃 → (社福) さざんか福祉会
- (4) 1階ガラスの清掃 → (社福) さざんか福祉会

2022年度事業報告書の付属明細書

あるでこむを建設中止とした理由は、世界的な物価高による建設費や運営維持費の高騰、また、固定資産税が未確定のため、完成後の運営が憂慮される状態となったためであるが、国内の建設費の高騰及び今後の物価高に関する情報を以下に補足する。

- (1) 建設費の高騰に関するデータ（一般財団法人 建設物価調査会より）を下記に示す。



- (2) 今後の物価高の動向について、「経済・物価情勢の展望 2023年4月（日本銀行）」より抜粋する。
- * 物価の先行きを展望すると、消費者物価(除く生鮮食品)の前年比は、輸入物価の上昇を起点とする価格転嫁の影響が減衰していくも、今年度半ばにかけて、プラス幅を縮小していくと予想される。その後は、マクロ的な需給ギャップが改善し、企業の価格・賃金設定行動などの変化を伴う形で中長期的な予想物価上昇率や賃金上昇率も高まっていくも、振れを伴いながらも、再びプラス幅を緩やかに拡大していくとみられる。
 - * リスク要因をみると、海外の経済・物価動向、今後のウクライナ情勢の展開や資源価格の動向など、わが国経済を巡る不確実性はきわめて高い。そのもとで、金融・為替市場の動向やそのわが国経済・物価への影響を、十分注視する必要がある。